



7～8月に市内で行われたイベントについてお知らせします



幻想的な霧の華厳の滝に感動

7月15日(土)～24日(月)まで、海外姉妹都市ラピッド市(アメリカ合衆国サウスダコタ州)の中学生・高校生6名と同行者2名が日光市を訪れ、市内の家庭にホームステイをしながら交流活動を行いました。

滞在中は、市長・議長への表敬訪問のほか、日光杉並木、日光東照宮、華厳の滝などの市内観光スポットを巡り、日本の自然や文化に触れました。また、日光中学校を訪問し、授業体験で筆を演奏したり、給食を食べたりして、日光市の生徒たちとの交流を深めました。



気分は市議会議長

ラピッド市中学生・高校生夏期交流事業

本庁舎建設工事起工式



鍬入れを行う斎藤市長

7月6日(木)に、平成31年1月開庁予定の本庁舎建設工事の起工式が行われ、工事が本格的に始まりました。式では、斎藤文夫市長や設計者・施工者の代表が「鍬入れ」などを行い、工事の安全、無事完成を願いました。

※この取材と8月号の「一喜一憂」は、職業体験(マイチャレンジ)で広報紙編集を体験した東原中学校の阿久津遼さんによるものです。

龍王祭



力強い万燈神輿

7月21日(金)・22日(土)に鬼怒川温泉で、22日(土)・23日(日)に川治温泉で「第49回龍王祭」が開催されました。

鬼怒川温泉の会場では、特設ステージで龍王太鼓をはじめとした郷土芸能や、歌謡ショーが披露されました。また、鬼祭会の万燈神輿や華やかな女樽神輿、中学生による鬼怒若万燈神輿が温泉街を練り歩き、会場を盛り上げました。



華やかな女樽神輿

東京都から鬼怒川温泉に宿泊に来ていた庄司さんは、「お神輿で盛り上げる地元の方々の一休感がとても良いですね」と話していました。

一方、川治温泉会場ではダンスパフォーマンスやジャズライブ、光と音のステージなど、さまざまなショーが披露される中、来場者はゆったりとイスに座り、屋台の飲食物を堪能しながら祭りを満喫していました。

湯西川温泉心かわあかり



やまほたるを放流する小学生たち

7月22日(土)～8月3日(木)、「心かわあかり」が開催されました。7色に光るボール「やまほたる」が放流されると、真っ暗な川面が一気に輝き観光客から歓声が上がりました。東京都町田市からサッカーの試合で来ていた小学生たちがやまほたる放流を体験し、「ぼくのが一番早く流れてる!」とはしゃぎながら、自分のやまほたるをいつまでも追って歩いていました。



今月の表紙

プリンスアイスワールド

ニッ コウ

2017 in NIKKO



四季がテーマのチームショー

8月5日(土)・6日(日)、日光霧降アイスアリーナで「プリンスアイスワールド2017 in NIKKO」が開催されました。

このアイスショーは1978年に始まり、日光市では初開催となりました。荒川静香さんや安藤美姫さん、町田樹さん、本田真凛選手などのトップスケーターたちがゲスト出演しました。また、プリンスアイスワールドチームの華麗な演技に、会場は歓声と拍手で大いに盛り上がりました。

宇都宮市から訪れた大嶋さんは「テレビでは見たことがあったが、迫力が違う。とても良いショーでした。また機会があれば訪れたい」と話してくれました。



華麗に舞う本田真凛選手



笑顔で踊る参加者

8月4日(金)、清滝地区の古河電工日光営業所で、日光和楽踊りが開催されました。
サイレンとともに、きらびやかな電飾が会場を照らし、太鼓と笛の音色とともに日光和楽踊りが始まりました。
参加者たちは、そろいの浴衣を着て、声を掛け合い楽しそうに踊っていました。会場は終始熱気に包まれていました。



日光の夜空に打ち上がる花火

8月5日(土)、「2017日光夏の花火」が大谷川河畔で開催されました。
今年で66回目の開催となる花火大会の会場には、浴衣姿の方や家族連れなど、約4万5,000名が来場し、花火を満喫しました。
宇都宮市から来た神田さんは「河川敷から花火を見ていました。雨も降らず、本当に良かったです」と話してくれました。



宮田美保(左)・楓歌親子と篠原義典(右)・悠人親子による選手宣誓

8月6日(日)、例幣使街道で「第12回日光杉並木マラソン大会」が開催され、県内外から約2,500名が参加しました。また、観光友好都市の大韓民国慶州市から訪問団の選手も参加し、親交を深めました。
コースは、例幣使(10km)、十石坂(5km)、鷹の巣とり(3km)で、今大会から鷹の巣とりコースにペア部門と親子部門(2km)が創設さ

日光杉並木マラソン大会

れました。鷹の巣とり親子部門で優勝した佐藤善和さんと慶太郎くん(福島県田村市)は、「杉並木の中を走り、とても気持ちが良かったです。優勝できたこともうれしい。来年は別のコースで参加したい」と笑顔で話してくれました。
ゴール後は、それぞれのコースの1位から6位の入賞者が表彰され、1位から3位にはメダルが贈られました。



親子部門で優勝した佐藤親子